

令和7年度指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価 評価基準表

施設名	豊中市立青少年自然の家
所管部(局)課	教育委員会事務局 社会教育課
指定管理者	特定非営利活動法人豊中市青少年野外活動協会

評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
1 基本姿勢	団体の経営目標等が公共の利益の増進に合致したものであるか	○豊中市の公共施設としての設置目的を理解し、令和7年度青少年自然の家事業計画書に記されている「人と人・人と自然が繋がる わっぱるの森」をテーマに、わっぱるの森をベースとして、人と人との繋がりを育み、人と自然を繋げる取り組みを行うとともに、適切な安全・安心な管理運営が行われた。 ○市との連絡調整の任にあたる者が、市の施策・関係法令・施設設置目的を理解し、かつ定期的に内部ミーティングを実施し、他のスタッフと情報共有と課題把握、課題解決に努めながらワンチームで事業運営を行った。 ○青少年団体による自然体験活動、野外活動及び団体生活の場の提供や、自然体験活動に関する指導及び助言、指導者の育成など設置目的を達するための事業運営を行った。	A
	市の施策全般を理解し協力しているか		
	地方自治法等の関連法令を遵守しているか		
	施設の設置目的に沿った事業運営を行っているか		
2 サービス水準・施設効用の発揮	その施設として重要と思われる業績の評価指標 (KPI) (大をめざすもの)	最高評価サービス水準値 ; 340 団体 (16,000 人) 確保すべきサービス水準値 ; 280 団体 (13,000 人) 実績値 ; 325 団体 (14,344 人)	A
		最高評価サービス水準値 ; 30% 確保すべきサービス水準値 ; 15% 実績値 ; 30.9%	
		最高評価サービス水準値 ; 15 事業 確保すべきサービス水準値 ; 10 事業 実績値 ; 17 事業	
		最高評価サービス水準値 ; 8 回 確保すべきサービス水準値 ; 4 回 実績値 ; 30 回	

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		主催キャンプ実施数 プログラム開発数 (出前事業含む) ホームページアクセス数 指導者研修実施回数・延参加者数	最高評価サービス水準値；5 回以上 確保すべきサービス水準値；4 回 実績値；6 回 最高評価サービス水準値；5 件以上 確保すべきサービス水準値；3 件 実績値；7 件 最高評価サービス水準値；20,000 件 確保すべきサービス水準値；10,000 件 実績値；98,848 件 最高評価サービス水準値；8 回、延べ240 人 確保すべきサービス水準値；2 回、延べ60 人 実績値；18 回、延べ261 人	
		施設の維持管理を安心安全に配慮して行っているか	○安全管理では、野外で起こりえる事故・けが・病気の予防対策や、川遊びでのライフジャケットの着用義務化、猛暑・豪雨・台風・地震等の自然災害に対する取組みとともに、清潔で安心感のある施設となるよう、場内巡視点検を毎日行い、危険個所の早期把握に努めている。 ○社会貢献事業にも取り組んでいる民間事業者と、ひとり親家庭の親子を対象にした連携事業を実施し、事業を通じて参加者同士の交流を深め、地元事業者との関係性を築く事業を行うなどの創意工夫ある姿勢が見られる。 ○担当者の属人的な業務遂行にならないよう必要なスタッフを配置し、基本協定書に定める仕様書に基づき日常業務を履行している。また、特定の利用者に対する特別な扱いは見受けられない。	
		利用者等にサービスを提供するうえで、事故防止のための安全管理が徹底されているか		
		使用許可の判断等を公平公正に行っているか		
		安定して確実に日常業務を遂行しているか		
		創意工夫ある独自企画事業を展開しているか		
3	財務健全性	貸借対照表は健全か 損益計算書は健全か 資金保有（期末残高）は健全か （当該事業の）収支状況・収支計画は適切か	○貸借対照表は健全であり損益計算書は概ね問題ない。 ○収支状況では、予算に比し決算額は大きな乖離がなく、概ね適切な収支計画であると判断できる。	B
4	市民満足度への配慮	利用者アンケート・市民の声等の状況は良好か	○利用者アンケートにおいて、利用満足度が「大変良かった」「良かった」を合わせると 97.8%である。良かった点として「スタッフの対応」が 64.6%と高い満足度	A

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		地域の市民との関係は良好か	が表れており評価できる。また、マス釣り・科学工作・忍者体験・草木染めなど、地元企業と協力した事業展開をするとともに、関係性が構築できた。	
5	従業員への配慮	労働関係法令を遵守しているか 研修は実施されているか 従業員が働きがいを持ちいきいきと業務に取り組んでいるか 従事者（第三者委託先の従事者含む）が業務を行う際の安全管理が徹底されているか	○すべての従業員への配慮が行き届いた運営がされている。常勤3人と、とても少ない職員数での運営であるが、繁忙期にはサポートスタッフを適宜配置し、無駄がなく、かつ必要なスタッフを配置する体制をとっている。 ○従業員の研修については、新人社員研修・野外技術研修・救命講習などの勉強会や講習会の開催を6回以上求めているところ、18回も行っており、従業員の研鑽の機会を豊富に用意している。 ○屋外作業時安全管理マニュアルを作成し、マニュアルに沿った作業実施を指導し、安全を確保している。	B
6	個人情報保護体制	個人情報保護の体制が整備されているか	○マニュアルに基づき、個人情報保護の視点を持って運営されていた。また、SNS発信時において注意すべきことのマニュアルが作成されている。 ○事故対応について、速やかに行い、かつ再発防止も講じ、再発しないよう適切に運用がなされている。	B
7	危機管理体制	緊急事態発生等への危機管理体制が整備されているか	○緊急時の対応を策定し、安全・危機管理担当者を設置するなど、危機管理体制の整備に努めるとともに、防災訓練を年2回実施している。また、川の利用対応についてのマニュアルや、緊急事態発生等への対応が整備されている。	B
8	その他	その他、条例等から必要と判断される評価事項（豊中市立小・中学校に対して、施設利用および主催事業参加への訪問啓発活動が実施されているか。）	○主催事業の案内チラシを、豊中市立の小・中学校を通じて全児童・生徒に配布し川遊び・野外炊飯・キャンプファイヤーなど、小学生を対象にしたサマーキャンプを行うなど、施設の認知度向上や利用促進につなげた。 ○学校の利用促進のため、学校向けのパンフレットを作成し社会教育課と学校訪問を行いわっぱのPRに取り組むとともに、わっぱの利用に対する事前打合せには、スタッフが学校に出向くなど、学校の負担軽減に努めるなど、丁寧な対応を行っている。 ○主催事業についても、参加者の利便性を考慮し、往復のバスを用意するなど参加者の増加に努めている。	A
	総合評価			B

(評価の基準)

- A ; 優れた管理運営状況である
- B ; 問題のない管理運営状況である
- C ; 改善を要する管理運営状況である